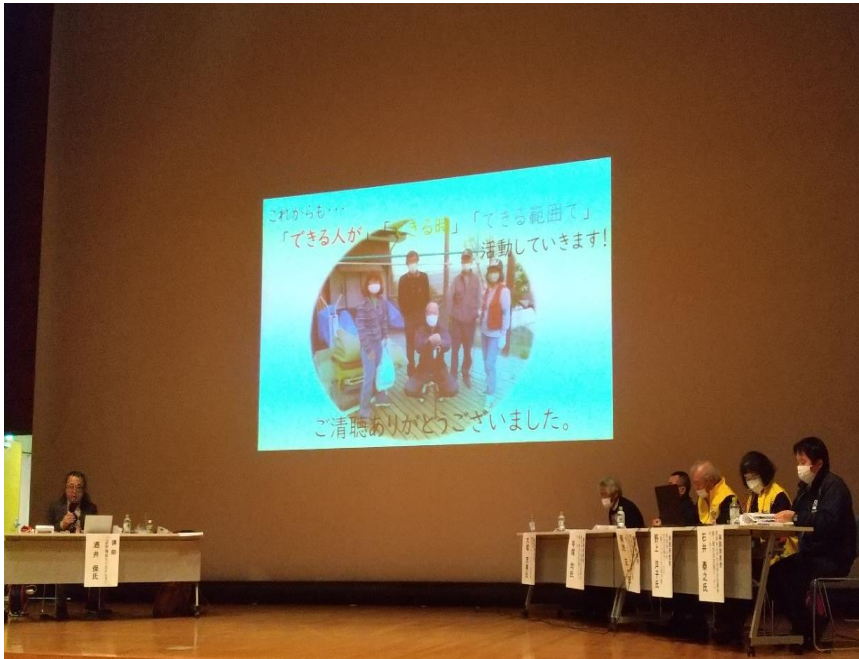


「“住民主体”の地域支え合い推進フォーラム inとちぎ」を開催しました!!

発行日：令和5年3月1日 発行人：栃木県社会福祉協議会地域福祉・ボランティア課



去る2月2日（木）にとちぎ福祉プラザにて、フォーラムを開催しました。フォーラムには、県内の地域で活動されている様々な立場の方々総勢100名の方が参加しました。

基調講演では、全国の地域活動支援に“飛び回っている”ご近所福祉クリエイターの酒井保さんから「支え合いの本質、つながりが何故大切なのか、地域にある住民同士の暮らしの中のとつながり（=お宝）の重要性について」お話をいただきました。



～実践発表～

みんなの決意表明!



- ◎サロン立ち上げます!!自分の住んでいるところで!
- ◎自分の地域でもできる所から始めたい!小さな一歩から!
- ◎仲間とともにできることを根気強く続けていきたい。
- ◎地域の方を元気にするんだという意識で業務に当たっていきたい。
- ◎“助けられ上手”を増やす、育てる。

…他にも多数あげられました!!



◎真岡市の「サロン×移動販売」については、市社協からの提案もあり、普段つながりが少なかった高齢者らが“世代交流できる機会”としてコロナ下でも取り組めるよう工夫して企画したと、大塚さん。移動販売の当日は、「〇〇さん今日来ていないね。」などお互いが気にかけて合うきっかけになったと事業のねらいであった地域のつながりづくりも出来ていると手塚さん。

◎那須烏山市の「助っ人カラス」のエンブレムは地元の高校生がデザイン。最高齢88歳、最年少33歳の協力者が登録しており、幅広い世代が事業に関わっている。お話訪問で持参する情報誌は、毎月生活支援コーディネーターが作成していると石井さん。取組を通じて知り合った人とのつながりを大事にしていきたいと菊池さん、野上さん。

登壇者 泉わくわくサロン 運営者 大塚 茂美 氏
 真岡市社会福祉協議会 第1層生活支援コーディネーター 手塚 均 氏
 助っ人からず協力者 菊池 正一氏、野上 洋子氏
 那須烏山市社会福祉協議会 第1層生活支援コーディネーター 石井 泰之氏
 コーディネーター ご近所福祉クリエイション 酒井 保氏